

請願第2号 福知山市における「脱炭素先行地域」事業の見直しと地域特性に即したエネルギー政策を求める請願

請願者 福知山市篠尾新町3-39
福知山・夜久野の自然と環境を守る会
共同代表 片野 英人 氏、林 ともこ 氏

紹介議員 荒川浩司 議員

1 請願の要旨及び目的

環境省の「脱炭素先行地域」に福知山市が選定され、再生可能エネルギー導入が推進されていることについて、その進め方に大きな懸念を抱いている。そのため、福知山市における「脱炭素先行地域」事業の実施にあたっては、次の通り求めるとともに「脱炭素先行地域」事業の見直しと、地域特性に即したエネルギー政策を求める。

- 一. 脱炭素先行地域事業の内容と効果について、住民への十分な説明を行うこと。そのためには最低でも1か月程度、全戸配布等による事前の住民周知の猶予期間を設け、十分な周知を行うこと。
- 二. 太陽光発電の導入効果について、地域特性を踏まえ、福知山市の霧や多雨の気候の特性、具体的かつ客観的な証拠を示し、市財政への影響と経済的合理性を含めた検証結果を予め公表すること。
- 三. 太陽光パネル設備の廃棄・更新に関する長期的な計画と費用負担の仕組みを明確にすること。さらには、設置の際に起こり得る有害物質の漏洩防止策の提示及び予想し得ぬ事故が起こった場合の市民への賠償方法及び原状復帰の具体的な方法について明らかにすること。
- 四. 太陽光発電以外も含めた多様なエネルギー選択肢を検討し、経済的合理性がないと住民投票等で市民が判断した場合、「脱炭素先行地域」の返上を含め、最も適した方策を取ること。

2 請願の議決理由

本委員会は、当請願に関し、6月16日に委員会を開催し、慎重に審査した結果、次の結論に達した。

採択とする討論

- ・太陽光発電は広い面積を必要とし、リサイクル技術もまだ確立されていない。将来に大量の処理できない廃棄物が出てくる可能性がある中で、これをさらに広げていく前に、一度立ち止まって他のエネルギーについても見直すべき時期に来ていると考える。請願者の思いを汲み、賛成する。

不採択とする討論

- 地球温暖化による環境への影響を考慮すると、脱炭素の推進は我々の責務である。本事業は、事業費の3分の2が国費により手当てされ、福知山市の日照時間の実績からも経済的合理性は担保されている。また、パネルの撤去費用の積立やリサイクル等の安全性も計画に想定されている。市民への丁寧な説明は不可欠だが、「太陽光発電そのものが時代遅れである」とする請願の基本姿勢には賛同できないため、反対する。
- 慎重な運用を求める市民の声は受け止めるが、事業見直しや住民投票の実施という要求には賛同しかねる。導入される設備は国の安全基準を満たしており、撤去費用の積立も法的に義務化されているため、安全性や将来の費用負担は担保されている。また、本事業は太陽光発電だけでなく、公共施設の省エネ化など多様な施策を含むものである。気候変動対策は喫緊の課題であり、事業を停滞させるべきではない。今後は議会と行政が責任を持って適正に監視・推進していくべきと考え、本請願には反対する。
- 長期的な計画や費用負担の仕組みの明確化、経済的合理性の検証など、請願者の皆様の思いは理解する。しかし、我が国を取り巻くエネルギー安全保障や再生可能エネルギーの導入は極めて重要であり、脱炭素先行地域の「返上ありき」という内容には賛成しかねるため、本請願には反対する。

採決 賛成少数で不採択

本請願の願意については添いがたく、よって不採択と決した。
以上、報告する。

令和8年6月24日
福知山市議会議長 吉見 茂久 様

福知山市議会産業建設委員会
委員長 森下 賢司